

天皇賜盃 第82回日本学生陸上競技対校選手権大会

開催日:平成25年9月6日(金)~8日(日)

場所:国立競技場

種目	名前	学年	記録	着順	備考
3000m障害 予選2組	港 菜月	1年	11分13秒01	8 出場14名	予選落ち (2組4着までとその他記録上位4名が決勝進出) 自己記録(11分24秒76)、香川県記録(11分24秒76)を更新

【山本コメント】

本学女子駅伝部員として、6月の日本学生個人選手権に続く2回目の全国大会出場であった。今大会の出場資格は、日本学生陸上競技連合が設定する標準記録を突破していることである。港は5月の関西インカレで標準記録を破り、出場資格を得た。

レースは2組に分かれて予選レースを実施、各組上位4着までとそれ以外で記録上位4名の全部で12名が予選を通過した。港は、予選の2組目に出場、序盤から積極的に記録上位の選手が集う先頭集団でレースを進めたが、中盤から徐々に先頭集団から離された。しかし、後半のペースダウンを最小限に食い止め、自己記録であり香川県記録でもあるタイムを11秒以上更新してゴール。決勝進出こそならなかったが、現状の走力、調子からすると、いい走りができたと評価できる。来年は、決勝進出および上位入賞を目標に取り組んでほしい。

今大会は、学生陸上競技アスリートにとって最高峰の大会である。港の今回の出場は、チームの足跡として貴重な一歩となった。来年は、複数選手が複数種目に出場できるよう、また駅伝に強い大学の選手たちと切磋琢磨できるよう、チーム全体の底上げを図っていききたい。今回の港の勢いを、チーム全体として、秋の駅伝レース、トラックレース、ロードレースの成果につなげていききたい。